

1. 研究課題名：
担体固定化吸着剤を用いた環境中からの
小規模分散型セシウム回収プロセスの実用化

2. 研究代表者氏名及び所属：
迫田 章義 （東京大学生産技術研究所）



3. 研究実施期間：平成 24～25 年度

4. 研究の趣旨・概要

福島第一原子力発電所の事故以降、放射性セシウムによる土壌などの環境汚染が深刻な問題となっており、これら汚染物質を集積隔離した際に生じる高放射線量や隔離物の膨大さ等の問題を解決することは最重要課題となっている。

本研究は、①放射性セシウムの土壌など環境中物質から水溶液への脱着・脱離、②水溶液から担体固定化セシウム吸着剤への吸着分離・回収、③当該吸着剤からの脱着・濃縮等の要素技術から構成される、仮置き場、集落あるいは農地単位で除染可能な小規模分散型の放射性セシウム回収プロセスを開発することを目指すものである。

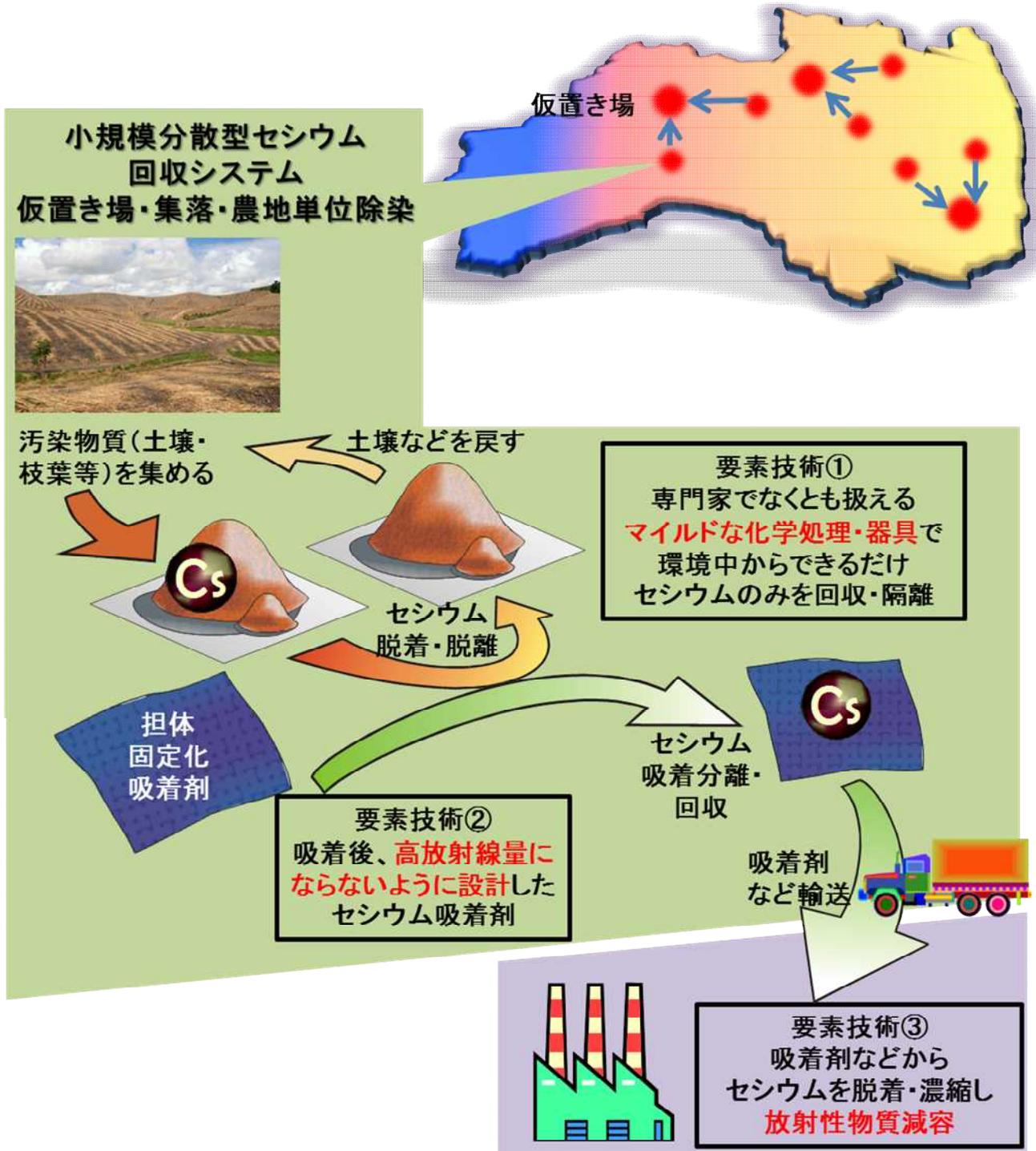
これより、放射性物質の除染対策について、環境研究・技術開発の面からの貢献が期待される。

5. 研究項目及び実施体制

- ①環境中からのセシウムの回収（東京大学）
- ②環境中のセシウムの動態分析（石巻専修大学）
- ③福島県内各地の環境試料の収集と分析（福島大学）

6. 研究のイメージ

放射性セシウムは**広範囲**に**多様な**環境中(土壌など)へ



目標 有志が参加可能・安価・大量生産可能な
小規模分散型セシウム回収システム開発
⇒ 広範囲に多様な環境中からの除染に資する技術開発